



シルバーとなみ

第 48 号

令和 4 年 9 月 発行

発行/公益社団法人

砺波市シルバー人材センター

砺波市高道217の2

TEL/0763-33-4341

FAX/0763-33-5854

HP/<http://www2.tst.ne.jp/t-silver/index.html>



ふれあい



砺波市シルバー人材センター 設立40周年記念式典

公益社団法人砺波市シルバー人材センターの設立40周年記念式典は6月10日（金）、砺波市文化会館大ホールで会員、市民、関係者ら多数が参加して開かれ、さらなる飛躍を誓いました。



飯田理事長の式辞

記念式典には、会員、来賓、市民ら約400人に来場いただきました。

記念式典では、まず飯田修平理事長が式辞を述べました。

引き続き、ご多忙の中ご臨席いただいた、夏野砺波市長、川辺市議会議長、久世富山県シルバー人材センター連合会長からご祝辞をいただき、癒師県議会議員などのご来賓の紹介、祝電が披露され、式典は大盛況のうちに終了しました。

休憩のあと記念アトラクションに移り、まずは、津軽三味線芸人の中山孝志、安藤有希子ご夫妻によるステージ演奏で会場を盛り上げていただきました。

『三味線♪ 歌月獅子舞月』というテーマで明るく楽しくトークを交えながら、三味線の演奏や、獅子舞を披露していただきました。中山さんは砺波市にご縁があるそうで砺波話でもたいへん盛り上がりました。



三味線、笛、太鼓など息の合った中山・安藤夫妻



獅子舞の披露も



盛大に開催された記念式典



感染症対策も実施しました

このあと、市立砺波総合病院医療顧問の伊東正太郎先生による『心と体の健康寿命を延ばそう！』というテーマのもと記念講演が行われました。

「健康寿命を伸ばすためになすべきこととして、認知症や脳卒中を予防することが大切であり、この機会にぜひ食生活を見直しましょう。」とアドバイスがあると、出席した皆さんは熱心に耳を傾け、健康維持への意識を再確認していました。教養＝「今日用事がある」、教育＝「今日行くところがある」が大切であり、豊かなキャリアを地域や家庭で活かしていただきたいとシルバー事業にピッタリな言葉をいただきました。



ユーモアあふれる伊東先生

令和4年度 定時総会 開催

砺波市シルバー人材センターの令和4年度定時総会を、6月10日（金）、砺波市文化会館大ホールで開催しました。

新型コロナウイルス感染防止のため、今年度も議決権行使書又は委任状により、令和3年度事業報告や収支決算、役員を選任について審議していただきましたが、いずれも原案のとおり承認されました。

当日の出席総数は、297名（うち議決権行使書提出者243名、委任状提出者54名）でした。

また、総会で優良会員等受賞者として、次の方が表彰を受けられました。



受賞された皆様

優良会員等特別表彰

- ・中村 信也 さん（20年表彰）
- ・安念 外信 さん（20年表彰）
- ・横川 紗代 さん（前理事）
- ・桐山 巧 さん（前理事・優良会員）

- ・戸田 信之 さん（出 町）
- ・寺井 恵子 さん（種 田）
- ・西岡 悦子 さん（林 ）

また、定時総会後の第2回理事会で新役員体制が次のとおり決定しました。

優良会員表彰

- ・山川 和枝 さん（柳 瀬）
- ・丹羽 隆 さん（鷹 栖）
- ・早風 勝 さん（鷹 栖）
- ・瀬川 和子 さん（東野尻）
- ・上田 昇 さん（東野尻）
- ・山崎 美智代さん（梅檀野）
- ・古島 久長 さん（出 町）
- ・東和田千鶴子さん（油 田）
- ・樋掛 信晴 さん（鷹 栖）
- ・澤田 勲 さん（林 ）
- ・水田 都 さん（梅檀野）

- | | | |
|-------|-------|-------|
| 理 事 長 | 飯田 修平 | |
| 副理事長 | 安念 幸彦 | |
| 専務理事 | 今井 潔 | |
| 理 事 | 杉本 健三 | 川辺 知秀 |
| | 高田 光宗 | 吉川美栄子 |
| | 澤田 賢一 | 吉田 正暉 |
| | 中居 洋 | 田嶋 道夫 |
| | 川淵 久士 | 橋場 剛 |
| | 北市 昌昭 | 有澤 健四 |
| 監 事 | 安念 政博 | 村井 一仁 |

富山シルバー人材センター連合会定時総会

6月16日（木）、富山県シルバー人材センター連合会の総会が「ボルファートとやま」にて開催されました。

総会に先立ち、砺波市シルバー人材センターから2名が優良会員表彰を受けられました。

優良センター会員表彰

- ・老松 義勝 さん（出 町）
- ・大浦 博 さん（東山見）

皆さまおめでとうございます。



県シ連の総会での授賞式にて

安全だより

令和3年の事故総数は、傷害事故が9件、賠償責任事故が5件と、減少傾向にあった、令和2年度の5件に比べ大きく増加しました。

今年度、7月末現在で、傷害事故が3件、賠償責任事故が4件の事故が発生しております。

傷害事故の傾向としてハチ刺されが多く発生し、熱中症や、全国的に最も多い三脚脚立からの転落事故が発生しました。

賠償責任事故の傾向として、草刈作業中の刈払機によるガラス破損等の飛石事故が後を絶ちません。皆さん、事故のないよう気をつけましょう。

7月28日(木)には富山県シルバー人材センター連合会の真木安全指導員とともに合同安全パトロールを実施し、剪定や除草現場を抜き打ちで3か所巡回しました。

県の真木指導員は、「飛石事故の予防には、車両の移動や、養生の徹底が大切である。」と現場の皆

さんに呼びかけていました。

9月と聞くと「夏ももうすぐ終わり」という感覚になりますが、まだまだ残暑が厳しい季節です。残暑による熱中症には気を付け、健康で楽しく働ける環境づくりを心掛けましょう。



県シ連との合同パトロールの様子

対前年度事故件数比較表(7月末現在)			
区分	3年度	4年度	増減数
傷害事故	9	3	-6
賠償事故	5	4	-1
合計	14	7	-7

配分金支払い日案内	
令和4年	令和5年
10月17日(月)	1月16日(月)
11月15日(火)	2月15日(水)
12月15日(木)	3月15日(水)

あとかき

熱中症に気をつけよう

『今日も暑いもう・たまに降らんかな?』と挨拶を交わす毎日。

県内シルバー熱中症第一号の私がおこがましいが一言記したい。

発生状況、日当たりの良い五葉松の剪定中、午前9時30分、全身にだるさ発生!三脚を下り低い枝に移る。仲間に水分補給を促しながら、ポカリを少し飲む。

午前9時50分、だるさが回復せず、「早目の休憩をとる」、と仲間に合図し、軽四を背にポカリを飲み干す。直後、座り込む。仲間に左右から体を支えてもらう。すぐに救急車の手配、私の頭、首、脇下を濡れタオルで冷やし、声をかけ続けていただく。南砺市民病院へ。

途中携帯で家内に健康保険証等持参の連絡をした。救急担当の看護師さんの手業の良さに感服。点滴を一本、血液・腎臓・腹部エコー等は良好で午後1時過ぎ帰宅する。

今回の一連の出来事について私なりに分析してみた。①潜在的要因:数日前の善光寺御開帳詣りの疲れがあった。頻尿で2時間毎にトイレへ行く。②直接的要因:熱帯夜が続き、睡眠が浅い。③間接的要因:当日朝から無風で蒸し暑く、日当たりが良かった。④応急処置:仲間二人が患者(私)を転倒しないよう支えてくれた。急所を濡れタオルで冷却、声かけを続ける。⑤今後の対応:朝食を確実にとる。作業直前に水分をとる。暑さに慣れても、こまめな休憩、塩飴、濡布で頭部を冷やす。

我が体験により得た学びである。最後に、仲間の絆・判断・対応に感謝感謝、シルバー役員はじめ、多くの仲間に申し訳ない次第である。熱中症に気をつけよう!

(橋場 剛)

